

平成29年11月28日

報道説明用資料



守谷市

FUKUYAMA
CONSULTANTS
CO.,LTD.



FUKUYAMA
CONSULTANTS
CO.,LTD.



“グリーンインフラ”で描く守谷の未来

グリーンインフラ

～ GI 包括連携協定の取り組みについて～

～本資料の概要～

① グリーンインフラ（GI）の概要

② GI包括連携協定で目指すこと

1-1 人・社会・自然のつながり

- かつて、人々は自然のリスクと恵みを両立させながら暮らしていた。
- しかし、都市化により、暮らしから自然が切り離され、災害が頻発。
自然は社会のリスクとなり、防災や国土のあり方の転換期を迎える。

■ かつては自然のリスクと恵みを両立

- ・稲作は河川氾濫原の営み
- ・河川の氾濫はリスクだが、肥沃な土を運ぶ



■ 自然を切り離した結果、災害が頻発

- ・都市化と共に、自然を分離し管理
- ・氾濫域の宅地化等、無秩序な土地利用

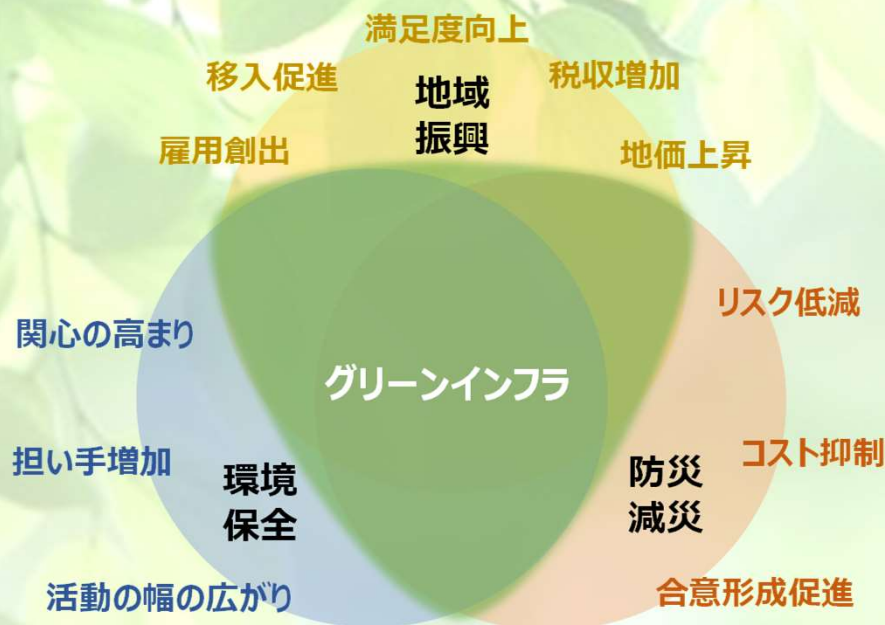


1-2 グリーンインフラという考え方

■ **グリーンインフラ**とは、自然を地域の大切な**資本**としてとらえ直し、**自然の恵み**を活用して、**社会の課題解決**や**豊かさ創造**につなげる、**古くて新しい考え方**です。

■ 自然の多様な機能を賢く利用することで、様々な相乗効果が生じる。

■ グリーンインフラは、人々をつなぐ**地域の核**となり、心の豊かさを創造する。



1-3 守谷市の高いGIポテンシャル

- 守谷市は、河岸の台地上にまちが立地。**災害リスクが低く安全。**
利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれつつ、**自然を生かした都市構造。**
- **都内へ約30分でアクセス可能、自然豊かな里山環境が残る。**
- 守谷は自然地形に合わせた土地利用。
自然と共存可能な都市構造。
- 古くからの関東平野の美しい里山環境が、
今も残されている。



※国土地理院 色別標高地図を加工



2-1 GI包括連携協定で目指すこと

守谷市では、市内の自然を活用したGIを計画的に活用し、市の課題解決と豊かなまちづくりを目指します。

| 課題 | GIでめざすこと | GI施策（イメージ） | |
|--|------------------------------|--|---|
| ①住民の高齢化 早くに整備された地区は、高齢化が進みつつある。今後の深刻化が懸念。 | 自然の中での活動を促進。健康増進、リフレッシュ | ①いざ、自然の中に出かけるきっかけづくり ・スマホいきもの調査、ウォーキングマップの情報提供。 | ICT技術の活用 市民生活総合支援アプリ「Morinfo」の活用など |
| ②子育て環境の充実 新たに若い世代を招くためには、子育て環境の充実が不可欠。 | 自然の中で子育てしたくなる、ワクワクする環境 | ②人が集まる、人を呼べるGI拠点づくり ・シンボリックなGI拠点を整備。Park-PFIの活用など。 | |
| ③都市間競争力強化 加速する人口減少の中、TX沿線市の中でも、独自の魅力創出が必要。 | 自然を生かした地域ブランド化、新たなライフスタイルの提案 | ③身近な緑地空間をワクワクの自然空間に ・市民・企業・団体など、協働で公園空間を有効利用。身近な公園を多機能化、ワクワクする活動を推進。 | |
| | | ④農・食・空間統合の地域ブランド化 ・河川敷を中心とした、企業連携によるGIブランド化。 | ICT農業など、先進的な取り組みを試行 |
| | | ⑤都心と農の暮らしを楽しむファームシェア ・都心オフィス勤務と自然の中で農を両立できる協働農園。 | |
| クラウドファンディングの活用 | | | |

注) 取り組み開始時点の設定イメージです。具体的な施策は、部局横断体制で検討を進めます。

2-2 検討のスケジュール（イメージ）

- まず、部局横断の勉強会を通じ、意識共有と体制づくりを進める。
- 次に、産官学民連携の検討体制を立ち上げ、GIを推進。

| 内容 | | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度～ |
|-----------------------------|---------------------------------|-------|-------|-------|--------|
| STEP1 GI推進にむけた意識改革と体制づくり | ■ 包括的連携協定の締結 | 今回 | | | |
| | ■ 部局横断の勉強会（ワークショップ） | | | | |
| | ■ 検討推進体制・組織の準備 | | | | |
| STEP2 官民連携によるGI事業推進 | ■ 検討推進体制・組織の運営 | | | → | |
| | ■ 市内のインフラのGI適用方針整理 | | | | |
| | ■ GI事業の立案・関係者調整 | | | | |
| | ■ GI事業の実行 | | | | |
| STEP3 持続的・順応的GI運用 | ■ 管理・運営（PDCA） 持続的発展、さらなる魅力向上 | | | | |



守谷市

FUKUYAMA
CONSULTANTS
CO.,LTD.



FUKUYAMA
CONSULTANTS
CO.,LTD.



子供、孫の世代まで豊かな自然をつなぐため、
“**緑きらめき 人が輝く 絆つなぐまち もりや**”を目指し、
GIを活用したまちづくりを推進します。